

《最近の県内経済》 (2026年2月を中心として)

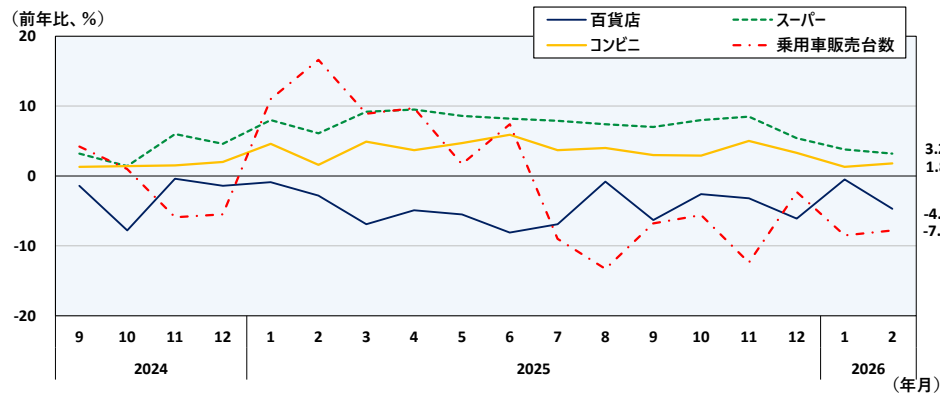
今月の概要

中東情勢の影響から先行きは不透明ながら、  
足許は緩やかに回復している



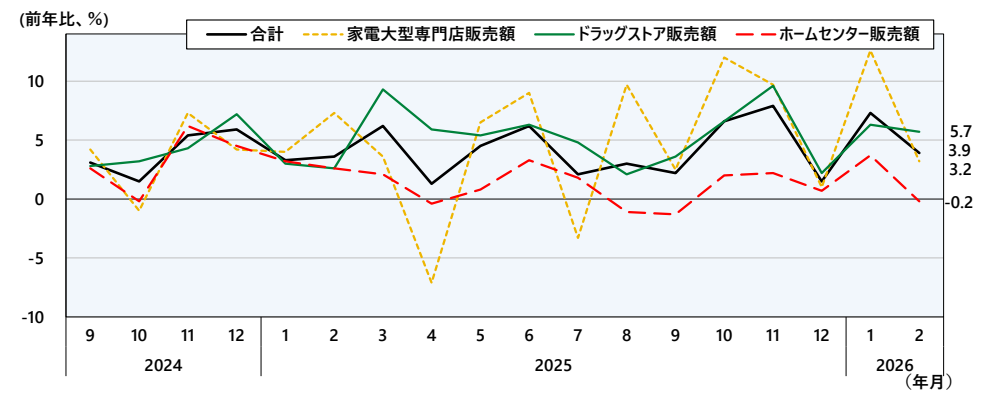
1 個人消費 ~緩やかに持ち直している →

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

2月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は96億円で前年比4.7%減(20か月連続の減少)、スーパーは1,088億円で同3.2%増加(41か月連続の増加)した。また、コンビニ販売は536億円で同1.8%増加(22か月連続の増加)した。食料品や生活必需品を含めた幅広い商品の価格上昇が続いており、販売額は増加している。

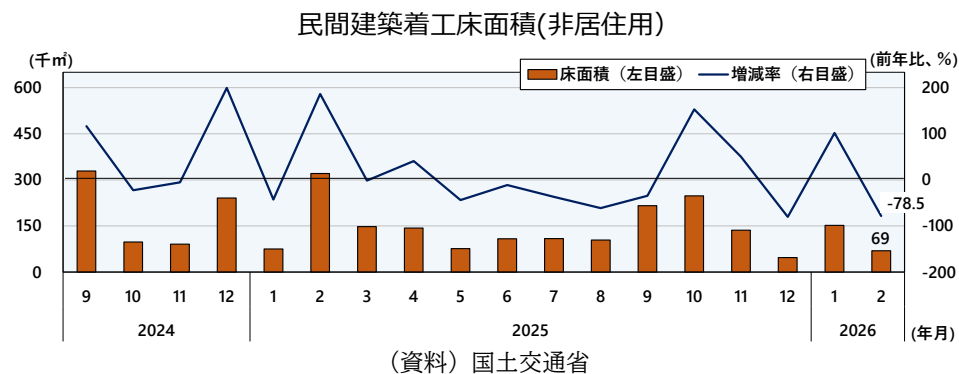
また、乗用車販売は、前年比7.8%減と8か月連続で減少した。内訳をみると、普通車が同13.8%減(8か月連続の減少)、小型車が同7.6%減(2か月連続の減少)、軽自動車と同0.9%増(4か月ぶりの増加)となった。一部車種での供給制限や前年の新型車効果の反動の影響がみられた。

2月の専門量販店販売額は772億円で前年比3.9%増と41か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が174億円で同3.2%増(7か月連続の増加)、ドラッグストアが438億円で同5.7%増(45か月連続の増加)、ホームセンターが160億円で同0.2%減(5か月ぶりの減少)となった。

家電大型専門店では、引き続きエアコンや携帯電話が好調に推移した。ドラッグストアでは、調剤医薬品、食品、トイレタリーが増加した。ホームセンターでは、2月は気温が高かったこともあり、防寒グッズ、暖房用品、除雪用品が低調だった。

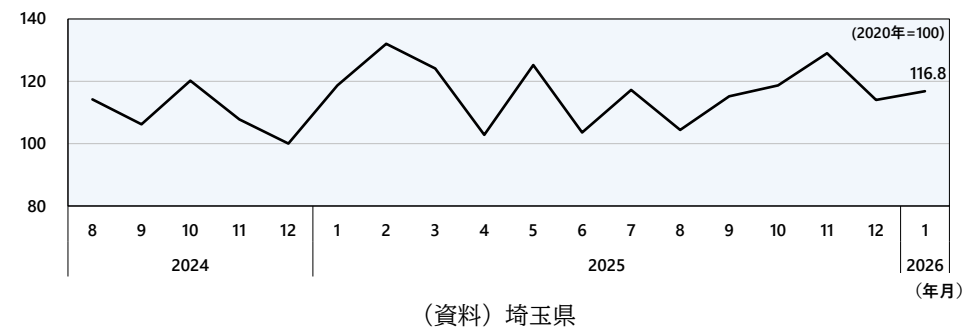
関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、1月<37.7>、2月<39.8>、3月<34.0>と推移している。

## 2 設備投資 ~増加基調にある ➡



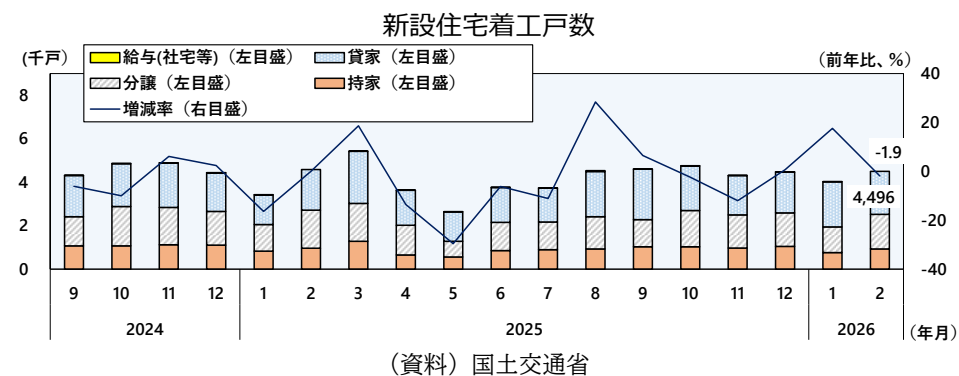
2月の民間建築着工床面積(非居住用)は、69千㎡で前年比78.5%減少した(5か月後方移動平均でも、前年比21.1%減少)。用途別にみると、事務所、店舗、工場及び作業場、学校の校舎は増加したものの、倉庫、病院・診療所は減少した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)



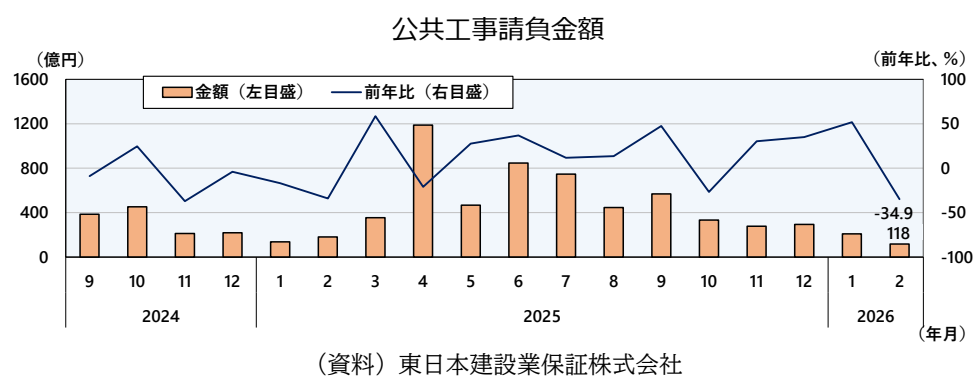
1月の資本財出荷指数(季節調整済)は116.8で、前月比2.5%増加した(5か月後方移動平均では、118.7で、前年比7.4%増加)。

## 3 住宅建設 ~弱含んでいる ➡



2月の新設住宅着工戸数は、4,496戸で前年比1.9%減少した(5か月後方移動平均でも、4,409戸、前年比0.7%減)。利用関係別にみると、貸家(1,978戸)が同5.8%増、分譲一戸建て(1,069戸)が同3.8%増となったものの、持家(925戸)が同3.3%減、分譲マンション(524戸)が同26.9%減となった。

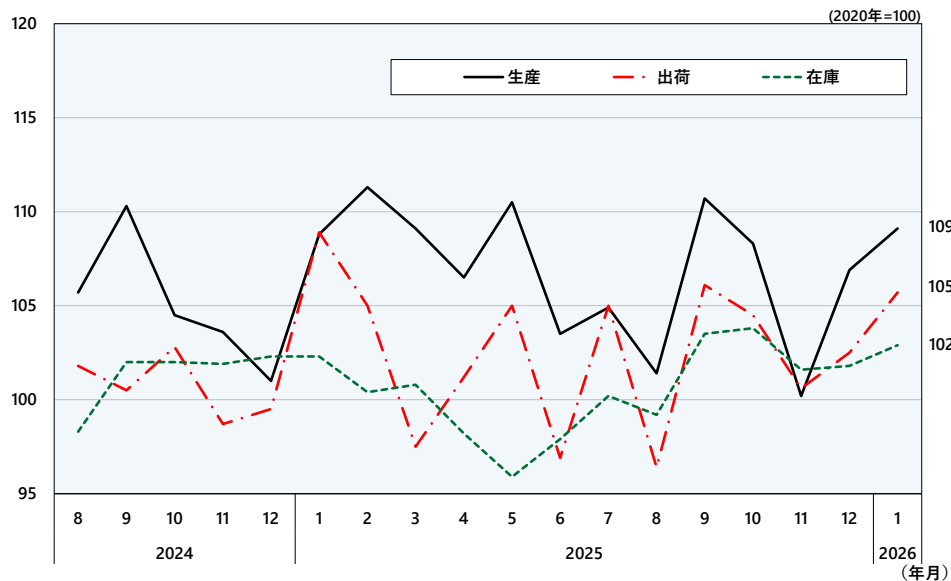
## 4 公共工事 ~底堅く推移している ➡



2月の公共工事請負額は118億円、前年比34.9%減少した。5か月後方移動平均では、247億円、前年比2.4%増で推移。発注者別の前年比をみると、独立行政法人等は増加したものの、国、都道府県、市区町村は減少した。

## 5 生産活動 ~底堅く推移している →

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



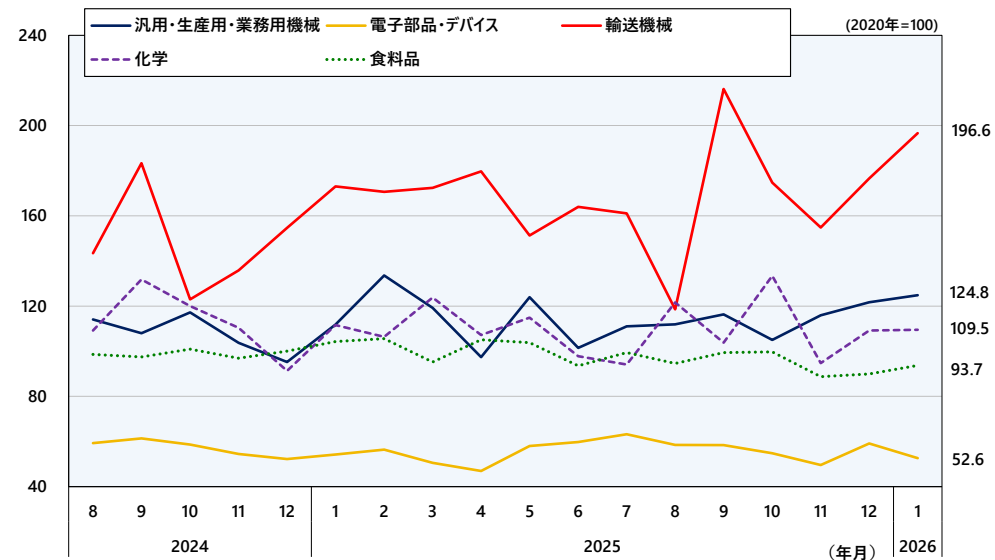
(資料) 埼玉県

1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、109.1で前月比2.1%上昇(2か月連続の上昇)した。業務用機械(医療用機械器具、分析機器)などが低下したが、輸送機械(乗用車、けん引車)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが上昇した。

出荷指数(同)は、105.7で同3.1%上昇(2か月連続の上昇)した。業務用機械(医療用機械器具)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、輸送機械(乗用車、普通トラック)などが上昇した。

在庫指数(同)は、102.9で同1.1%上昇(2か月連続の上昇)した。プラスチック製品(プラスチック製容器、発泡プラスチック製品)、電気機械(鉛蓄電池、食器洗い乾燥機)などが低下したが、情報通信機械(ガス警報器、金銭登録機(端末機能付))、生産用機械(マシニングセンタ、刈払機)などが上昇した。

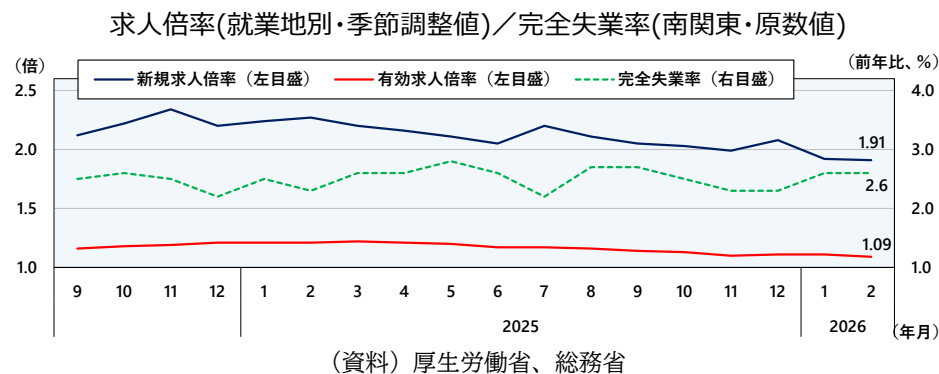
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

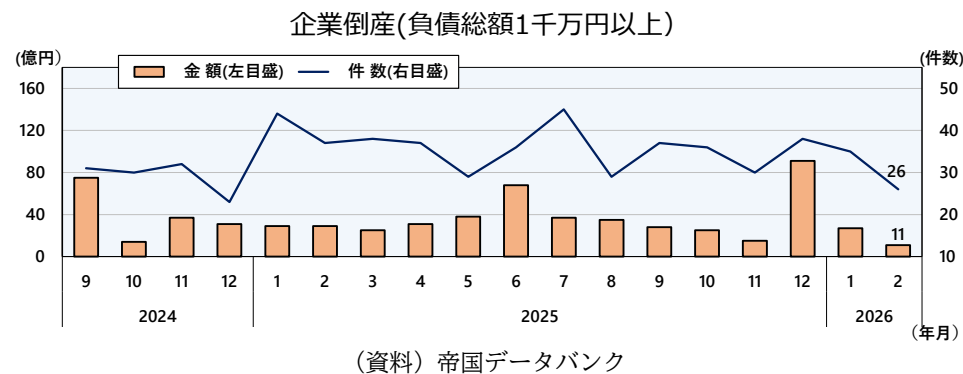
- ・汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、124.8で前月比2.5%上昇し、3か月連続の上昇となった。
- ・電子部品・デバイス(同)は、52.6で同11.0%下降し、2か月ぶりの下降となった。
- ・輸送機械(同)は、196.6で同11.3%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ・化学(同)は、109.5で同0.3%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ・食料品(同)は、93.7で同4.2%上昇し、2か月連続の上昇となった。

## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ➡



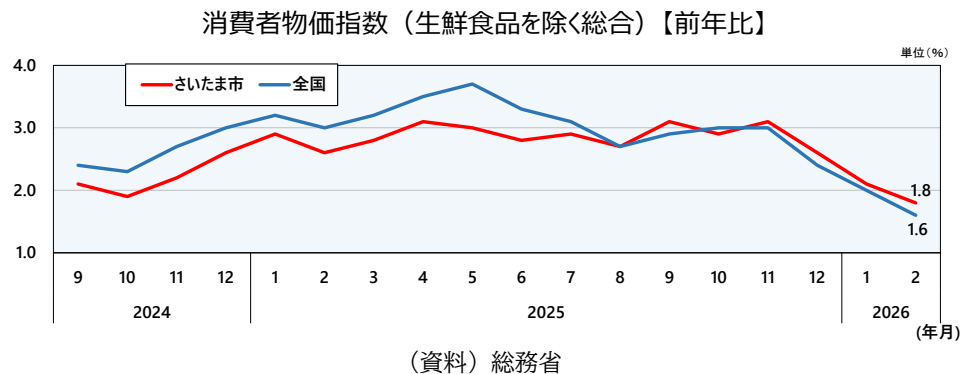
2月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.09倍で前月比0.02ポイント下降した。新規求人倍率(同)は、1.91倍で同比0.01ポイント下降した。  
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.3ポイント上昇した(前年同月比3か月連続の上昇)。

## 7 企業倒産 ~緩やかな増加基調にある ➡



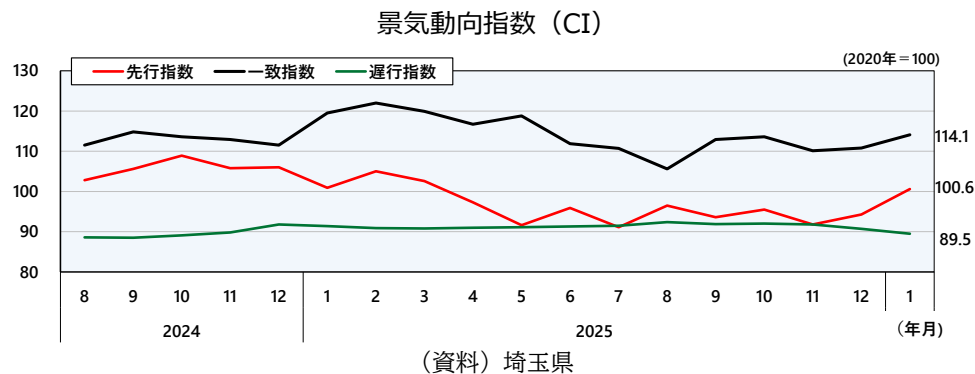
2月の企業倒産件数は26件で前年同月比11件減少した。また、負債総額は11億円で同比18億円減少した(5か月後方移動平均では、件数は前年比横ばい、負債総額は6億円増加)。  
業種別にみると、建設業が最多で9件、次いでサービス業が6件、運輸・通信業が5件となっている。主因別では、販売不振が25件となっている。

## 8 消費者物価 ~緩やかに上昇している ➡



2月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.4で前年同月比1.8%上昇した(53か月連続の前年同月比上昇)。  
食料(菓子類(チョコレートなど))、住居(家賃(持家の帰属家賃など))などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- 1月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、114.1で前月比3.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、100.6で同6.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、89.5で同1.2ポイント下降し、3か月連続の下降となった。